

3月26日(月) 9:00～11:00

E会場 ANAクラウンプラザホテル金沢 3F 鳳東

一般シンポジウム S03

物理系薬学部会シンポジウム～物理系薬学研究の若い芽に期待する～

Symposium of Division of Physical Sciences of the Pharmaceutical Society of Japan

—Hope Future Work in Physical Sciences of Pharmaceutical Sciences—

オーガナイザー：飯田 靖彦

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

鈴鹿医療大薬 飯田 靖彦

9:05～9:30

S03-1

不安定な生理活性物質を対象とした高感度分析法の開発

星薬大 岩崎 雄介

9:30～9:55

S03-2

尿中抱合型コレステロール代謝物の LC/ESI-MS/MS 分析による代謝異常疾患の診断マーカー探索

東北大病院薬 前川 正充

9:55～10:00

物理系薬学部会奨励賞授賞式

東大院薬 嶋田 一夫

10:00～10:25

S03-3

放射性分子プローブを利用した生体機能分析

岡山大院医歯薬 上田 真史

10:25～10:50

S03-4

抗体医薬のバイオアナリシス法の開発

静岡県大薬 轟木 堅一郎

10:50～11:00

部会長挨拶

東大院薬 嶋田 一夫

一般シンポジウム S03

物理系薬学部会シンポジウム～物理系薬学研究の若い芽に期待する～

Symposium of Division of Physical Sciences of the Pharmaceutical Society of Japan

—Hope Future Work in Physical Sciences of Pharmaceutical Sciences—

飯田 靖彦¹

¹鈴鹿医療大薬

新しく教授に着任された物理系薬学の先生方と物理系薬学部会における奨励賞を受賞された若手研究者2名にこれからの研究の方向と抱負を語っていただき、物理系薬学における研究の新しい芽を通して新しい着眼点(目)を共有することを目的とする。物理系薬学は分析化学、放射化学、物理化学分野に分かれ、他分野より広範囲な分野をカバーしている。この中から将来に資する物理系薬学の最先端の研究を紹介していただき、この新しい芽を通して、共同研究、情報交換により健康、医療、および創薬へ波及効果を生み出すシンポジウムとする狙いがある。本シンポジウムでは、物理系薬学に関する最前線の研究成果を分野横断的かつ複合的に討論する。本部会の発展のため、多くの部会員の参加と活発な意見交換を期待する。